

# 世界大会報告会を開催

8月24日、三八教育会館で原水爆禁止二〇一二年世界大会報告会が行われました。三八地区からは、八戸医療生協や教職員組合からの代表4人が参加しましたが、この日は4人そろっての報告となりました。

医療生協から参加した佐々木美音緒さんは、碑めぐりと平和記念資料館の展示について、スライドで丁寧な説明しました。強い熱線が皮膚がめくれてしまいう痛ましい姿を生じたことや被爆ユーカリの生命力、たぐさんの薬や医療材料をとどげ治療活動にあたったスイスのジュノー博士のこと等について語り、さらに分科会や民医連交流会についても報告しました。

根岸小・工藤美子さんは、分

# 八戸原水協



## 通信

八戸原水爆禁止の会発行 ●  
2012年9月15日 ●八戸市柏崎一丁目 10-34 三八地労連気付 ●電話・Fax 0178-47-8886

私たちはすべての国の政府に、すみやかに核兵器禁止条約の交渉を開始するよう求めます。

科会で見た映画「黒い雨」ZDF (第2ドイツテレビ・筆者注)制作の「福島の子」の映像で放射能被害の恐ろしさをあらためて感じたことを語りました。桔梗野小・千葉久美子さんは、三度目の広島になる、今回は記念館や



佐々木さんはパワーポイントで報告

碑などもじっくり見ることができました。大会で報告した高校生の取り組みがすばらしいと感じたと報告しました。八戸一養・武田郁子さんは、8月6日の広島にいたことが自分にとって一番大きなことだったと語りました。教職員の集いのこと、原発問題のこと、エネルギーがテーマのご自分の授業でどう教えて



報告する世界大会参加者

いくかについても触れました。30人近い参加者となった報告会は、いつそうの署名推進などは

## はつちとコープで開催

八戸原水爆禁止の会は7日と8日の両日、はつちで、日本被団協作成の新「原爆と人間」展を開催しました。会場のはつち2階スタジオ2には、30枚のパネルがちょうどおさまり、見やすく展示できました。たぐさんの人が訪れ、展示されたパネルと真剣に向き合っていました。

## 新「原爆と人間」展

小学4年生の息子と一緒に来場した女性は、説明文と一緒に読み、語り合っていました。「被爆写真は高校生の時に修学旅行で一度見ましたが、あまりの悲惨な光景に目を背けてしまいま

会の活動を強めることを確認して散会となりました。

## 2013年ちひろカレンダーの普及を

2013年ちひろカレンダーができあがりました。日本原水協がいわさきちひろさんの願に基づいて、1975年からちひろカレンダーを製作し、毎年普及してきたものです。核兵器廃絶と被爆者援護・連帯の共同をひろげるうえで重要な役割を果たしています。活用をお願いします。なお、大量に普及できる場合、事務局納入の単価は引き下げます。個別の注文も受け付けますので、電話またはFaxで事務局(47-8886 留守電可)。

<http://www.chihiro-fukyu.co.jp/chihiro/calendar/calender.html>

援募金と30筆の核兵器全面禁止のアピール署名が寄せられました。15日にはコープあおもりるいけ店2階の多目的小ホールで展示しました。



はつちで開催された「原爆と人間」展

## ナガサキの日行動

8月9日に行われたナガサキの日行動は医療生協13人など16人が参加、45筆の署名が集まりました。



大会報告の佐々木美音緒さん

# 3回の朝市署名を実施

八戸原水爆禁止の会は8月、5日、12日、19日と3回の朝市署名を行いました。館鼻岸場で開催される湊日曜朝市会場で、早朝6時半から8時までの取り組みでした。

5日は、朝もやが残る中、5人で取り組みました。買い物客や観光客など130筆を超える署名と二六一〇円の被爆者援護募金が寄せられました。子ども連れの来場者も多く、自主的に署名した小学生は、親に住所を確認しながら署名して、父親にほめられていました。他県から来た人からは、署名とともにがんばって下さいと声をかけていた



8月5日の朝市署名

きました。  
12日は4人で取り組みました。この日の署名数は106筆、募金は三一〇〇円でした。



12日の署名

19日は5人が参加、この日もハンドマイクは使わずに、ひたすら「核兵器をなくしましょう、核兵器禁止の署名を」と呼びか



8月19日の行動

けました。102筆の署名が集まりました。

中国の青年3人が足を止めて署名、中国の文字でも良いですかと確認して氏名を記し、住所は「中国大連」と記入しました。

8月の署名総数は、ナガサキの日行動や「原爆と人間」展で寄せられた分と合わせて420筆のほりました。

## 9月の6・9行動

9月9日に行われた6・9行動には6人が参加、32筆の署名が集まりました。日曜日なのでいつもより連れだつて行き交う中学生、高校生が多く、一緒に署名していきました。原水禁世



界大会に参加した医療生協の佐々木美音緒さんも参加しました。なお、次の6・9行動は、10月6日土曜日の午後2時、三春

## 潘基文事務総長の世界大会へのメッセージ

世界大会にご参加のみなさんにごあいさつをする機会をいただき、光栄です。この素晴らしい大会を見事に組織された高草木博さん（世界大会実行委員会運営委員会代表）と同僚のみなさんに感謝します。

今朝、世界の注目は広島市の平和記念式典に集まりました。それは67年前の原爆で亡くなられた方々を追悼し、被爆者と遺族の方々へ敬意を表する機会です。

しかし、あの式典もこの世界大会も、過去の問題だけに目を向けているわけではありません。世界の人々は、今日、核軍縮を求め、核兵器のない未来を望んでいます。

ご存じのように、これは希望だけで達成できるものではありません。国際社会の広範な個人やグループの大変な努力と協力、また国家グループ間の緊密な協力も必要です。そして国連において中心的な課題とされなければなりません。

軍縮の達成という課題を平和組織だけで担うことはできません。幸い、平和組織には実際の、そして潜在的な味方がいます。そもそも社会で、核兵器の影響を受けない人などいるでしょうか。年齢、収入、職業、性別、国籍とは無関係に誰でも核兵器廃絶から利益を得るのです。

私は、みなさんが多くの成果をあげてくれたことに敬意を表するものです。みなさんの刊行物や会議は、人々を教育してきました。署名運動は、市民一人ひとりを軍縮プロセスに参加させてきました。青年たちにも働きかけ、世界中で軍縮を優先課題としてきました。

みなさんに感謝します。これからもがんばって活動を続けてください。私は核兵器廃絶という崇高な目標を達成する運動で、みなさんのパートナーであることを光栄に思います。核兵器廃絶は私たちの集団的安全と幸福を大きく前進させるでしょう。

8月6日、広島 国連事務総長 潘基文

屋前で行います。

※6・9行動はヒロシマ・ナガサキの悲劇を繰り返さないために、毎月6日や9日に行っている原水協の核兵器廃絶のための行動です。

今年8月はいろいろな行動が行われたので記録を残そうと思つて通信を作成しました。活用していただければ幸いです。

---

---

---

---